

# くまとり議会だより

## No.2

平成20年9月発行

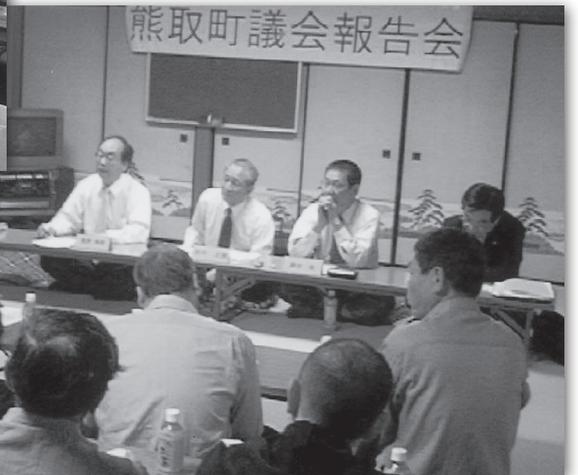
発行責任者／熊取町議会議長 藤原 敏司  
熊取町野田一丁目1番1号 ☎072-452-1001



西小学校を訪問しました



議員が普通救命講習を受けました



各地区での議会報告会



関西空港を視察しました

## 9月定例会予定

傍聴にお越しく下さい

### ●本会議

9月12日(金)・16日(火)・17日(水)・10月8日(水)  
予備日9月18日(木)  
定員は40人です(議案書は10人までお貸しできます)

### ●委員会 (別室で音声のみ)

【議会運営委員会】9月5日(金)・19日(金)  
【事業厚生常任委員会】9月19日(金)  
【総務文教常任委員会】9月22日(月)  
【決算審査特別委員会】9月26日(金)・29日(月)・  
30日(火) 予備日10月1日(木)

○会議はいずれも午前10時から  
(9月19日の議会運営委員会のみ午後1時30分から)

もくじ

6月定例会  
第1回臨時会

6月定例会・第1回臨時会の報告…………… 2・3ページ  
(都市計画道路の事業推進を求める決議)

6月定例会の一般質問…………… 4・5・6・7ページ

入札問題調査特別委員会の報告…………… 8ページ

# 6月定例会・第1回臨時会

平成20年6月町議会定例会は、6月11日(水)に開会、6月24日(火)閉会しました。  
この定例会では21の案件を審議し、全て可決・承認しました。

また、平成20年第1回町議会臨時会は7月15日(火)に開かれ、農業委員会委員の推薦および都市計画道路「大阪岸和田南海線」の事業推進を求める決議の2件を審議し、可決しました。

## 税条例の一部を改正する条例(賛成多数)

地方税法等の一部を改正する法律が平成20年4月30日に公布、施行されたことに伴う改正。

## 《反対討論》 日本共産党

・本人の了解なく自動的に年金から住民税の天引きを行うこととなる改正であること。  
・株式譲渡損失を配当所得から控除できる損益通算のしくみが創設されており、大資産家優遇の税制となること。

## 《賛成討論》 公明党

・国の制度改正に基づく条例改正であること。  
・個人住民税の特別徴収の対象者は65歳以上の公的年金受給者である。その内課税対象者は約2割であり、約8割の方は非課税であり特別徴収されることはない。  
・普通徴収は年4回の分割であるが、特別徴収では年金受給月と同じ年6回に分けての徴収となり、

1回の負担額は少し軽減される。

・十分な説明責任と周知徹底を果たし、事務手続きの間違いのない事を前提として賛成する。

## 廃棄物の減量化及び適正処理条例の一部を改正する条例(賛成多数)

可燃ごみの有料化、指定袋導入のための改正。

## 《反対討論》 日本共産党

・住民負担がさらに増加すること。  
・有料化がごみの減量化につながる十分な説明がないこと。  
・有料化による収入の一部をリサイクル経費に充てることは、今後の値上げを行う下地づくりとなること。  
・プラスチック製容器包装のリサイクル方法が具体的にとなっていないこと。

## 《賛成討論》 政勇クラブ 新風クラブ

・約50億円という高価な設備であるごみ焼却施設の寿命を延長するために、ごみの減量化は喫緊の課題であること。

・可燃ごみ有料化は既に周辺自治体においても実施されており、ごみ減量化の成果を挙げている。  
・町の財政も決して楽観できる状況ではなく、住民の協力を得ながら行政サービスの提供していく時代となったということ  
を認識せざるを得ない。

## 乳幼児医療費助成条例の一部を改正する条例(全会一致)

通院に係る医療費助成の対象年齢を4歳未満から小学校就学前までに引き上げるとともに、4歳以上就学前までの者の入院に係る所得制限について廃止するための改正。

## 工事請負契約の締結について(町道野田大原線道路改良工事及び公面汚水管渠第20-8工区布設工事)(全会一致)

株式会社徳進建設

・契約金額 4626万3千円  
・工期 議決日から平成21年2月27日まで

## 平成20年度熊取町下水道事業特別会計補正予算(第1号)(全会一致)

2億271万9千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ16億7258万6千円とするもの。

歳入では主に下水道事業債借換債の増額、歳出では維持工事費の増額および町債(元金償還金)の増額。

## 平成20年度熊取町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)(全会一致)

81万3千円を追加し、

歳入歳出予算の総額をそれぞれ43億667万8千円とするもの。臨時雇い賃金の増額。

## 平成20年度熊取町老人保健特別会計補正予算(第2号)(全会一致)

658万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ3億9458万1千円とするもの。平成19年度老人保健事業の精算に伴うもの。

## 平成20年度熊取町水道事業会計補正予算(第1号)(全会一致)

・収益的支出 234万5千円増(嘱託員1名に係る報酬等)

・資本的支出 3531万7千円増(送水等施設の更新整備の設計業務に係る費用等)

平成20年度熊取町一般会計補正予算(第1号)(全会一致)

新町長による初の「肉つけ予算」骨格予算であった当初予算に2億3729万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ104億2853万1千円とするもの。

《賛成討論》 日本共産党

暮らしを守る施策がある

も助成対象にした。

・乳幼児医療費の就学前までの拡充。

ため賛成とする。

・ごみ減量化へ向けて可燃ごみ有料化や資源ごみの分別収集の準備の推進。

《賛成討論》 新政クラブ

緑風会

・妊産婦健診の無料化を一回から三回に増やすこと。

・乳幼児医療費助成の対象者を4歳未満から小学

・全小学校AEDを設置。町長交際費50%削減。

《賛成討論》 公明党

・小学校のAED設置。住民に負担増のゴミ袋指定制導入が含まれており賛成しがたいが、命と

・妊婦一般健康診査助成の対象回数を1回から3回に拡充し府外での受診

・乳幼児医療費助成の小學校就学前まで拡充。・妊婦健診の公費負担3回。4月までの遡及と府外健診の還付。

補正予算の主な内容

・町営住宅建替事業関連	6,786万円増
・大原衛生公苑の施設更新	2,200万円増
・見出川及び雨山川の護岸補強	2,200万円増
・町道等の維持修繕	1,300万円増
・可燃ごみ収集の指定袋制への移行準備等	2,229万7千円増
・プラスチック類分別収集に伴うストックヤードの整備	1,394万7千円増
・生ごみ堆肥化容器設置補助金の拡充	50万円増
・ひまわりドーム施設修繕	1,525万円増
・乳幼児医療費助成拡充	923万7千円増
・妊婦健康診査の助成対象回数拡大	346万2千円増
・町内全小学校へのAED設置	170万円増

・全小学校にAED設置。・限りある財源の中、命にかかわる予算については最優先課題としている。・ごみ減量化の取り組みとしての指定袋制導入については、住民負担の軽減を考慮しているが、子育て世帯や、介護用オムツ、ボランティア清掃によるごみ袋の補助は柔軟な対応をすること。

臨時議会

都市計画道路「大阪岸和田南海線」の事業推進を求める決議

大阪府財政再建プログラムで、「大阪岸和田南海線」の事業について、現在工事中の府道泉佐野打田線までの350メートルについては22年の供用開始を目指す、残事業の拡幅区間500メートルについては一時休止とする旨の報告がありました。これに対し、議会として急遽次のような決議を行い、大阪府知事へ提出しました。

1. 都市計画道路「大阪岸和田南海線」の「一時休止事業」と位置づけられた区間を復活すること。
2. 第1期事業区間850メートルの早期完成に向け、事業推進を図ること。

意見書採択

二つの意見書が全会一致で可決し、内閣総理大臣、環境大臣、総務大臣、経済産業大臣に提出しました。

携帯電話リサイクルの推進を求める意見書

レアメタルを含む非金属の安定確保は、我が国の産業にとって重要な課題である。そこで政府に対して、使用済み携帯電話の適正な処理とレアメタル等の有用な資源回収促進を図るための早急な対策を講じるよう強く求める。

「クールアース・デー」(地球温暖化防止の日)の創設等を求める意見書

近年、乾燥地域の拡大や氷河の後退、異常気象の頻発、海面の上昇等の事象が地球規模で拡大している。そこで7月7日を「クールアース・デー」と定めCO<sub>2</sub>の削減など、国民が具体的に行動できる機会の創出に取り組むとともに、その普及促進を図るよう、政府に対して強く要請する。

議員の態度 (○賛成 ×反対) 態度が分かれたもののみ表示 (議長は、賛否同数の時のみ態度を表明し、議案の可否を決定します)

審議案件	鯉谷	田中(富)	腕野	文野	白間	藤原議長	渡辺	梶谷	月岡	矢野	江川	坂上	鈴木	田中(正)	奥野	大村
税条例の一部を改正する条例	×	○	○	○	○	-	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
廃棄物の減量化及び適正処理条例の一部を改正する条例	×	○	○	○	○	-	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○

# 一般質問 町の施策を問う

○原稿は質問を行った議員自身が作成しています。  
○詳しい内容は、会議録をご覧ください。

## 中小企業勤労者の福祉事業 勤労者福祉サービスセンターについて

文野 慎治



勤労者福祉サービスセンターとは、中小企業単

独では実施が難しい福祉事業を、地域の自治体を中心となり、事業主と勤労者がそのスケールメリットを利用、協力して設置する総合的な勤労福祉事業を行なう公益法人である。

は認識しているものの、国の補助制度には条件があり、事業所からの要望度合い、町が予算措置しなければならぬ運営費等を斟酌した結果、現在まで設置するに至っていない。

**問** 勤労者福祉サービスセンターの必要性をどのように考えているか。

**答** 既存する組織の中にも広域化への組織改編の動きがある。本町もこの流れの中でセンター設置に向け努力することが現実的対応と思うが見解は。

**問** 中小企業で働く労働者の労働条件の改善、労働者福祉の向上は重要

**答** 広域化の流れにも紆余曲折が考えられる。現状では本町を含め未設置市町村の設置は困難。

さらなる勤労者の労働環境、労働者福祉の充実を図るための勤労者福祉サービスセンターの必要性を感じている。

☆必要性については一致

**問** 本町に設置されていない原因は。

から、泉州地域での広域化を議会・行政がこの議題をテーブルにのせることを要望する。

**答** 本センターの必要性

## 校庭を緑で覆う！

梶谷 直人



### 校庭の緑化について

**問** 大阪府の重点事業の一つである校庭の緑化は、必ずしも積極的に行われているとはいえない。熊取町におきましても、校庭緑化は前進していません。なぜ緑化が進んでいないのかお聞かせ下さい。

**答** 大阪府からの300万円の補助金を使う予定はありませんか。

一つである校庭の緑化は、必ずしも積極的に行われているとはいえない。熊取町におきましても、校庭緑化は前進していません。なぜ緑化が進んでいないのかお聞かせ下さい。

**答** この補助制度は、学

同様の質問があり、貝塚市立北小学校への訪問をさせていただき、取り組み状況を聞いてきました。また、本町の中央小学校の取り組み（百平米程度の芝生化）を参考にしながら、維持管理などの課題について今後の検証も続けていきたいと考えております。

校や行政が主体ではできない制度であり、地域の団体が対象となっている。中央小学校で私ども初めてやっていたのだという

たりを皆さん方も注視しているというのが現状のようでございます。



☆運動場を緑に！

## 住民無視の「橋下改革」に毅然とした対応を

坂上 巳生男



**問** 橋下知事の財政再建プログラム試案（PT案）では、市町村への補助金大幅カット、医療費助成の見直し、35人学級中止、各種文化施設の廃止など住民のくらしと文化を直撃する内容となっている。これに多くの府民が反発、短期間に200万を超える署名が寄せられ、知事などについては当面存続を明らかにした。本町は新聞社によるPT案へのアンケートに「支持する」と答えているが、なぜ「支持」なのか。

**問** 財政難の原因のひとつである国には何も言わず、収入の範囲で予算を組むとして大胆に支出を削る、あまりに極端な改革ではないか。

な支持ではない。

**答** わずか数年前の方針から180度の転換となったものや、年度途中の廃止、変更など短期間での大幅な見直しによる府民及び市町村への影響が懸念される点については問題と認識しており、町長が知事に直接伝えたところである。

☆最終案では府議会での質疑を反映して、国の責任を明記している。町長として住民のくらしを守る立場から、国・府に言うべきことを言ってもらいたい。

要と感じており、全面的

要と感じており、全面的

要と感じており、全面的

要と感じており、全面的

要と感じており、全面的

要と感じており、全面的

要と感じており、全面的

### 第三次総合計画 本当の住民参加に！ 乳がん個別検診の早期導入を！

江川 慶子



**問** 「みんなが主役」のイメージと、基本計画策定における住民参加のあり方は？

**答** 第三次総合計画策定に関しては、審議会・懇話会の委員の一部を公募した。まずは、住民との情報共有に努め、その上で住民の自主性・自立性を損なわないようにその支援や連携のあり方を考えながら必要な環境整備に努めていきたい。

**問** 行政の役割として住民主権の施策をすべき。住民参加で財政難を乗り越えるという発想はしていないか。

**答** 行政は憲法を頂点として、国民の幸福のために従事。この総合計画は

特に住民に近いところであり、住民の福祉サービ

ス向上に向けて職員一丸

となつて進める。

### 乳がんの個別検診を！

**問** 乳がんの個別検診は、貝塚市民は五百円、泉

佐野・田尻は千円である。

現在、熊取住民が個別検

診を受けると、約九千円

の自己負担が必要である。

**答** 乳がん検診の受診は、

住民の予防意識によると

ころも大きいと考えられ

る。個別検診は集団健診

より受診料が高く、財政

状況等総合的に勘案した

上で検討していきたい。

### 高齢者にも人間ドックの助成を

鯉谷 陽子



**問** 後期高齢者医療制度における健診は今までも

おり受けられるのか。

**答** ふれあいセンターで

行つてきた基本健康診査

は、今年度から各保険者

による対応となる。後期

高齢者医療制度下では広

域連合において健診を实

施することとなるが、府

下の協力医療機関で受診

していただくことになる。

また、人間ドック、脳ドッ

クの助成制度は、大阪府

後期高齢者広域連合にお

いては設けられていない。

**問** 熊取町の非正規職員の実態はどうか。

**答** 熊取町の非正規職員

の実態はどうか。

**問** 熊取町の非正規職員

の実態はどうか。

**答** 昨年度、短時間の雇

用を含め1年を通して

任用した非常勤職員は、

303人。(平成19年1月

1日現在の正規職員は

401人)仕事内容が補

助業務なので報酬は適正

と考えている。今後、嘱託

員の活用と若者の就労対

策を検討したい。

### 小・中学校の耐震化を急げ！

白間 泰男



**問** 先の中国四川省の大

地震では、学校崩壊で多

くの犠牲者を出しました。

こうした教訓にこのほど

学校耐震化を加速させる

ために地震防災特別措置

法を今国会で改正するこ

とになりました。

**答** この改正により、IS

値(※)0.3未満の建物に

対する国庫補助率が2分

の1から3分の2へかさ

上げされ、自治体の負担

率は約1割で済むようにな

りました。

**問** 熊取中学校西校舎の改築事業を進め、

中央小学校及び南小学校

については、熊取中学校

西校舎に引き続き、計画的

に耐震改修及び大規模

改修を実施していく予定

であり、今回の法改正の

内容も確認の上進めてい

きたい。

**答** 熊取中学校西校舎の改

築事業(原発特措法措置)

は平成22年度までに、完

了する計画。体育館につ

いては、昭和57年の改修

という事で耐震診断を

行政としていくらか財政

が厳しい状況にあるうと

も、優先的に耐震化事業

を進めるべきである。

※IS値：耐震指標のこと



## 一般質問

# 一般質問

## 関西国際空港と熊取町の関係 町政運営方針について

腕野 幸博



**問** 関空と熊取町の関係について。

**答** 第2滑走路が供用され、今後ますます泉州地域全体での経済効果や新たなまちづくりにより拍車がかかることが期待されている。今後も泉州地域の発展を図るため、近隣市町等と連携協力していきたい。

**問** 係長級昇任試験及び勤務評定制度について。

**答** 町組織の活性化と職員の資質向上を図り、小教精鋭による健全な町政運営に貢献するためのもの。昇任試験は39%が受験しその18%が合格。勤務評定は優秀、課題ありランクに入った職員について勤勉手当に反映。

**問** ☆行政として能動的に関空に働きかけ、他の自治体との競争意識をもって勝ち抜こう！

**答** 行財政改革の達成度について。  
**答** 各科目の取り組みによる効果額を集約して報告する。新たな項目についても補足的にその説明をしていきたい。  
☆前向きな経過報告や結果報告を期待する。

## 妊産婦無料健診のさらなる拡充を 全国平均は5.5回 方向で検討したい

渡辺 豊子



**問** 粗大等の廃棄物で出された物の中で再利用・再使用できるものを展示し無償で譲渡しては。

**答** 今後、試行的に実施できるように検討していく。

## 学校のアレルギー対応 について

**問** アレルギー疾患のある児童は何人程度か。どう支えていくのか。

**答** 統計的なデータは難しいが、児童一人ひとり状況については把握している。アレルギーについての理解を深める研修等を行っていきたい。

## 自主財源増について

**問** 大阪府は、庁舎や府施設に設置している自動販売機の事業者選定を公募方式に切り替え、約3億円増収となった。本町も公募制に切り替え増収を図ってはどうか。

**答** 導入効果の高い施設を中心に検討する必要があると考える。行革の観点から適切に対応していく。

## 熊取町の財政見通しは？ 乳幼児医療費助成対象者の拡大を！

大村 敏夫



**問** 行財政構造改革プログラムアクションプログラム実行による平成21年度末における状況の見込みは？

**答** 収支推計した赤字は解消し、基金残高は改革目標よりも、約8億円の増となる見込み。

**問** 平成22年度以降の財政改革計画（第2次アクションプログラム）をいつ策定できるか？

**答** 平成21年度中に策定しなければならない。いっと答えられないが、ベストなものを策定できた段階（平成21年9月議会か12月議会）で議会に諮りたい。

府下では、既に26自治体  
が実施していることである。熊取町として、順次対象者を拡大し、小学校6年生まで広げべきだと思いがいかですか。これは、「若い人の熊取町への誘致策」となり、町の住民税・固定資産税増収につながる。

**答** 乳幼児医療費の拡充は、財政との兼ね合いで、大阪府の状況及び今回の乳幼児医療費助成拡充の結果を見ながら、今後の対応を考えていきたい。

**問** 今年から、熊取町でも乳幼児医療費助成を就学前まで拡大することになったが、これは大阪



## 温暖化ストップ 「みどりのカーテン」について

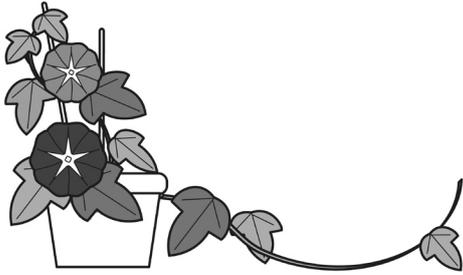
矢野 正憲



**問** 地球温暖化防止への関心を高め、教育環境をよくする為に、小・中学校の校舎壁面をゴーヤやアサガオなどの植物で覆い、室温の上昇を和らげる「みどりのカーテン」事業を推進すべきではないか？

**答** 大阪府において昨年からヒートアイランド現象の緩和対策として安価で手軽な壁面緑化である「みどりのカーテン」実証実験がスタートした。光合成による二酸化炭素の吸収を増やす事で、地球温暖化防止の取組みで大阪みどりのトラスト協会が学校に対して種子を無料で配布している。

本町でも昨年一部の学校職員室で試みている。残念ながら成長しなかつ



たようだが、今年も再挑戦をするようだ。また他の学校でもやってみたいという声は聞いている。

学校の置かれる状況や環境、設置条件などは各校ごとに異なっている。各学校に対して「みどりのカーテン」事業についての情報の提供などを行い、各学校の実情に応じた取組みを検討していくよう促していく。

## 都市計画について

奥野 博通



**問** 熊取町市街化調整区域における地区計画運用指針が平成19年11月に作成されている。同年、大阪府より同様のガイドラインが出され、市街化調整区域の開発について開発許可面積に大きな差が生じているが、問題はないのか。

**答** 熊取町の地区計画運用指針では5ha以上、府のガイドラインは0.5ha以上が対象となっているが、府のガイドラインはあくまで市町村の地区計画への同意の基準である。本町における地区計画の策定は、市街化調整区域でおおむね5ha以上の大規模住宅開発について検討を行うという考え方を継承している。熊取町の場合、宅地開発は、市

街化区域でお願いしたい。国土利用計画において、市街化調整区域における大規模開発の許可の規定が改正されたことから、大阪府のガイドラインが出来たと理解している。他市町村では大阪府のガイドラインの変更にあわせてどのように地区計画の変更がなされているのか。

**答** 堺市以南で市街化調整区域を持つ10団体においては、府のガイドライン策定後、新規の策定又は府の改正にあわせて運用指針の改正を行ったのが3団体、府のガイドライン策定前のままが2団体、未策定が5団体となっている。

## ～議会報告会の予定～

班	議員名(○班長)	9月議会報告 (11月頃予定)	12月議会報告 (2月頃予定)
1班	○渡辺 豊子	小垣内 希望が丘 自由が丘	若葉 つつじヶ丘 大宮
	坂上 巳生男		
	糀谷 直人		
	矢野 正憲		
	腕野 幸博		
2班	○田中 正旗	小谷 高久保	五月ヶ丘 緑ヶ丘 つばさが丘北 つばさが丘西
	鈴木 実		
	奥野 博通		
	鱧谷 陽子		
	文野 慎治		
3班	○大村 敏夫	泉陽ヶ丘 翠松苑 サニーハイツ・ 水荘苑	青葉台 紺屋 東和苑
	白間 泰男		
	月岡 常博		
	江川 慶子		
	田中 富士雄		

### 6月定例会会その他の案件(全て全会一致)

- ・ 税条例の一部を改正する条例の専決処分報告について
- ・ 平成19年度熊取町一般会計補正予算(第6号)の専決処分報告について
- ・ 平成19年度熊取町土地取得特別会計補正予算(第1号)の専決処分報告について
- ・ 平成19年度熊取町下水道事業特別会計補正予算(第4号)の専決処分報告について
- ・ 平成19年度熊取町墓地事業特別会計補正予算(第2号)の専決処分報告について
- ・ 平成20年度熊取町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)の専決処分報告について
- ・ 平成20年度熊取町老人保健特別会計補正予算(第1号)の専決処分報告について
- ・ 人権擁護委員候補者の推薦について

## 一般質問

# 入札問題調査特別委員会調査報告

## (一〇〇条委員会)

### 1、趣旨

平成19年10月、町営大原住宅建替工事(第2期)の入札における競売入札妨害事件(談合事件)の発生が明らかになり、議会は、事件の原因や背景を調査し、再発防止に向けた入札制度改革に資するため、「入札問題調査特別委員会」を設置し調査を行いました。

### 提言

設計金額が1000万円以上の工事に対しては、一般競争入札を原則とし、指名競争入札をする場合においても、公平性・透明性・競争性を重視して業者指名を行うこと。

### 問題点

工事請負業者に関する各審査会の詳細な議事録が作成されていなかった。

### 提言

審査会は、副町長・部長で構成されており、合議によって行なわれているが、現存の会議録は要点のみの記録であり、会議の内容すべては把握できないものもある。今後、透明性の観点から、詳細な議事録を作成し、会議の内容すべてを明記するべきである。

### 問題点

入札において競争原理が働かなかった。

### 問題点

入札等の執行状況を審査する第三者機関が設置されていなかった。

### 提言

公共工事の入札及び契約に関しては、透明性・公平性を確保するために、中立で公正な第三者の監視機関を設け、①入札契約手続き(契約内容、入札結果の審査等)についての検証、②利害関係者の苦情処理、を行う。

最後に熊取町にとって、今回の競売入札妨害事件(談合事件)は、町政に対する町民の信頼の失墜を招いた事件であり、町長をはじめ、議員、職員等、町政に携わる者すべてがこれを真摯に受け止め、今後町民の皆様の信頼回復に努めなければならぬ。



町長へ提言書を手交(平成20年6月26日)

※調査報告書の全文は、町議会ホームページに掲載しています。

## 〈おしらせ〉

藤原敏司議長が平成20年5月に大阪府町村議長会会長に就任しました。

### 〇お詫びと訂正

6月1日に発行しました「くまどり議会だより」創刊号の記事に一部誤りがありました。お詫びして、訂正します。

2頁 議会報告会  
誤「五門8/9」  
正「五門8/10」

5頁 議員の態度一覧表  
誤「平成20年度一般会予算について」  
正「平成20年度一般会計予算について」

8頁 一般質問 坂上巳生男議員  
誤「本町の保険料」  
正「本町の保育料」

## 編集後記

「議会だより」第2号をお届けします。

従前、議会の案件等を報告していた「広報くまどり」から、議会が自ら編集して発行する「議会だより」へ。いかに、住民の皆様は議会の状況を分かりやすく、正確に伝え、関心を持ってもらえるか、広報委員会全員の悩みです。年4回の定例議会があり、その中で会派代表質問や予算・決算審議のある3月・9月議会と、それらが無い6月・12月議会とのページ数やレイアウトの問題など、まだまだ発行を続けながら智恵を絞る課題がたくさんあります。皆様のご意見・ご感想もお寄せください。

### 広報委員会

- 委員長 大村敏夫
- 副委員長 文野慎治
- 委員 白間泰男
- 委員 梶谷直人
- 委員 月岡常博
- 委員 江川慶子